

将来の介護に関する調査

【2023年3月調査結果】



日本リサーチセンター

Member of WIN and Gallup International Association

調査仕様

【調査課題】

- ①自身の介護を頼みたいと思う先に、違いがあるのではないか(男性は配偶者に頼みたい、女性はヘルパーに頼みたい)
- ②配偶者の介護を頼みたいと思う先は同じなのではないか(男女ともに、配偶者の介護を「ヘルパー」に頼みたい)

【設問】

- ・将来、自身の介護が必要になった際、誰に介護を頼みたいかと、その理由
- ・将来、配偶者に介護が必要になった際、誰に介護を頼みたいかと、その理由

【調査方法】

インターネット調査

【調査期間】

2023年2月17日～24日

【サンプル数】

1,611サンプル(全国の男女40～64歳)

※2022年1月1日住基(日本人)を基に人口とエリアで割付

結果サマリー

- ①自身の介護を頼みたいと思う先に、違いがあるのではないか
(男性は配偶者に頼みたい、女性はヘルパーに頼みたい)
⇒男性は「特にない」(38.7%)が最も高く、「配偶者」(22.7%)に頼みたいも、女性(14.6%)よりも高い。
女性は「ヘルパーなど介護サービスの人」(53.2%)に頼みたいが最も高く、男性(31.6%)よりも高い。(P5参照)
- ②配偶者の介護を頼みたいと思う先は同じなのではないか
(男女ともに、配偶者の介護を「ヘルパー」に頼みたい)
⇒男性は「自分が介護をしたい」(32.8%)が最も高く、女性は「ヘルパーなど介護サービスの人」(53.1%)に頼みたいが最も高い。
(P9参照)

リサーチはこう見た！

自身の介護や、配偶者の介護を誰に頼みたいかで、男性と女性で価値観の相違があるのではないかと思い、今回の調査を実施した。結果として、やはり男女で相違はあったものの、単純に、相違があったというだけで終わらせるのではなく、その理由としてどのようなものがあるのかを知りたいと思った。今回の調査では明らかにはできないが、どのような理由で生じたかを自分なりに考えてみた。

・女性は、介護において、家族や自身の肉体的・精神的負担を減らすことに重きを置いており、そのために、自身や配偶者の介護を「ヘルパーなど介護サービスの人」に頼みたいという傾向があった。つまり、自身や家族の肉体的・精神的負担を減らせる環境づくりを家庭内で進めていくことができれば、必ずしも外部の介護サービスに頼りたいというわけではないのではないかなと思った。例えば、見守り・介助ロボットのさらなる普及や、介護による精神的負担を減らすための相談先の確保などは、介護の肉体的・精神的負担を軽減するうえで、重要になってくるのではないかと思った。

・また女性は、日本の男女の平均寿命が、女性のほうが長いことから、配偶者よりも長く生きるかもしれないことを考慮し、「ヘルパーなど介護サービスの人」に頼みたい傾向もあるのではないかと思った。

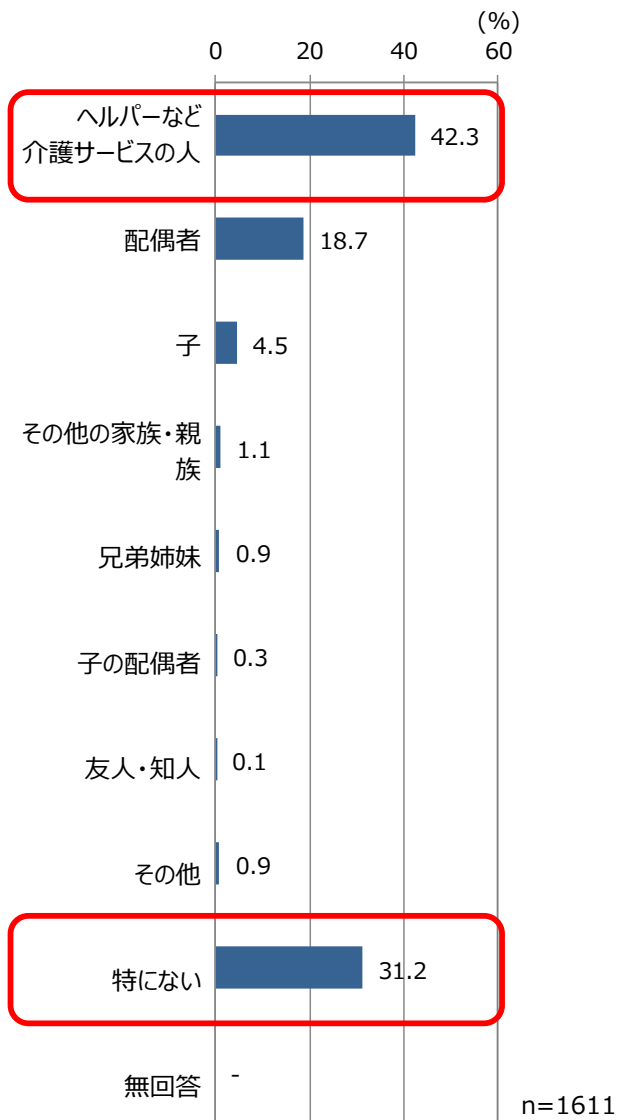
・男性は、介護において、気心が知れていること、家族の者だけで十分な介護ができることに重きを置いていることから、自身の介護を「配偶者」に頼みたく、配偶者の介護については、「自身が介護したい」という傾向が女性よりも高かった。心理的な安心感を求めるのであれば、「ヘルパーなど介護サービスの人」でも、コミュニケーションスキルを磨き、そのことを周知してもらえるような働きかけをすることで、心理的な安心を求める人でも、外部の介護サービスを依頼しやすくなり、介護をする側・される側との間で、信頼関係を結ぶことができるのではないかと思った。

・また男性は、女性に比べて、「特にない」も高かった。これは調査前に予想していない結果だったため、どう解釈したらよいか難しい部分もあるが、例えば、介護についてまだ真剣に考えてないといったこともあるのかもしれない。

・以上のように、男性と女性で、回答傾向に違いは出たが、その背景を知り、それぞれが求めるものを、「こういう形でも実現できるのではないか」と考えていくことで、少しでも多くの人々が納得できるような、介護の環境を作っていくことが望ましいのではないかと、今回の調査を通して感じた。また機会があったら、このような調査をしてみたいと思う。

将来、自身の介護を誰に頼みたいか(全体)

Q. あなたは、将来、身体が虚弱になって、日常生活を送る上で、排せつ等の介護が必要な状態になった時、どなたに介護を頼みたいと思いますか。
(主なものを1つ)



全体で見ると、

- ▶ 「ヘルパーなど介護サービスの人」(42.3%)が4割を超えて最も高く、以下「配偶者」(18.7%)、「子」(4.5%)の順となっている。
- ▶ 「特にない」は31.2%だった。

将来、自身の介護を誰に頼みたいか(性年代・婚姻状況別)

		n	%									
		全体	ヘルパー など介護 サービス の人	配偶者	子	その他の 家族・親 族	兄弟姉 妹	子の配偶 者	友人・知 人	その他	特にな い	無回答
全体		1,611	42.3	18.7	4.5	1.1	0.9	0.3	0.1	0.9	31.2	-
性別	男性	816	31.6	22.7	2.8	1.3	1.2	0.5	0.1	1.0	38.7	-
	女性	795	53.2	14.6	6.3	0.8	0.6	0.1	0.1	0.8	23.5	-
年代	40～44歳	299	40.5	13.4	4.7	3.0	0.7	0.3	-	0.7	36.8	-
	45～49歳	448	37.3	15.4	5.6	0.9	1.3	0.2	0.2	1.1	37.9	-
	50～54歳	378	42.6	20.4	4.5	0.5	0.8	0.5	0.3	1.3	29.1	-
	55～59歳	345	47.2	23.5	3.8	0.6	0.6	0.3	-	0.6	23.5	-
	60～64歳	141	48.9	24.1	2.8	-	1.4	-	-	-	22.7	-
婚姻状況	結婚したことがない	477	40.5	1.3	-	2.5	2.7	0.4	0.4	1.3	50.9	-
	配偶者がいる	998	42.1	29.4	5.7	0.5	0.1	0.3	-	0.7	21.2	-
	配偶者とは離婚している	116	51.7	0.9	9.5	-	-	-	-	-	37.9	-
	配偶者とは死別している	20	40.0	5.0	25.0	-	5.0	-	-	5.0	20.0	-

性年代別で見ると、

- ▶ 男性は「特にない」(38.7%)が最も高く、女性(23.5%)よりも高い。また、「配偶者」(22.7%)も、女性(14.6%)よりも高い。
- ▶ 女性は「ヘルパーなど介護サービスの人」(53.2%)が最も高く、男性(31.6%)よりも高い。
- ▶ 年代が高いほど、「配偶者」が高い傾向にある。

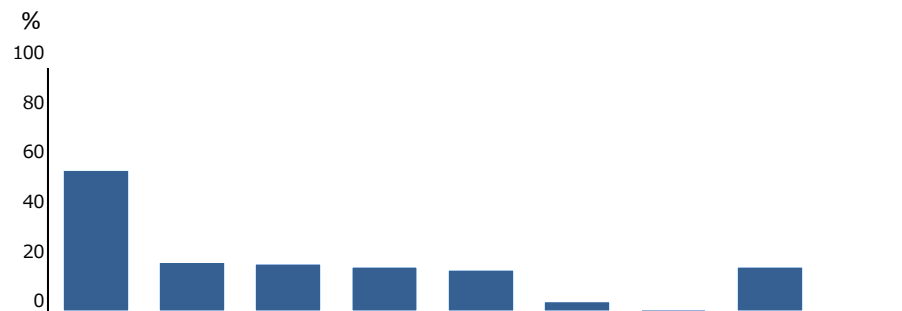
婚姻状況で見ると、

- ▶ 結婚したことがない者は「特にない」(50.9%)が、配偶者がいる者(21.2%)、配偶者とは離婚している者(37.9%)よりも高い。
- ▶ 配偶者がいる者は「配偶者」(29.4%)が、結婚したことがない者(1.3%)、配偶者とは離婚している者(0.9%)よりも高い。
- ▶ 配偶者とは離婚している者は「ヘルパーなど介護サービスの人」(51.7%)が、結婚したことがない者(40.5%)、配偶者がいる者(42.1%)よりも高い。

家族に介護を頼みたい理由(性年代・婚姻状況別)

Q. 家族に自身の介護を頼みたい理由を教えてください。(いくつでも)

※自身の介護を「配偶者」、「子」、「子の配偶者」、「兄弟姉妹」、「その他の家族・親族」のいずれかに頼みたいと選択した人に質問した



	全体	家族だと気心が知れているため	家族の者だけで十分な介護ができると思うため	他人の世話になるのはいやなため	他人に家庭に入ってきてほしくないため	ヘルパーなどを利用するだけの金銭的余裕がないため	ヘルパーなどの対応やスキルに不安があるため	その他	特に理由はない	無回答
全体	411	59.6	20.7	19.7	18.7	17.3	4.1	0.5	18.5	-
性別										
男性	233	64.4	25.3	16.7	18.0	17.2	3.4	0.4	15.9	-
女性	178	53.4	14.6	23.6	19.7	17.4	5.1	0.6	21.9	-
年代										
40～44歳	66	53.0	21.2	18.2	27.3	19.7	4.5	-	19.7	-
45～49歳	105	61.9	21.0	18.1	20.0	14.3	4.8	-	19.0	-
50～54歳	101	60.4	15.8	22.8	18.8	19.8	3.0	1.0	17.8	-
55～59歳	99	62.6	21.2	14.1	13.1	18.2	4.0	-	18.2	-
60～64歳	40	55.0	30.0	32.5	15.0	12.5	5.0	2.5	17.5	-
婚姻状況										
結婚したことがない	33	54.5	18.2	27.3	24.2	30.3	15.2	-	27.3	-
配偶者がいる	359	60.7	20.1	18.9	18.4	16.2	3.1	0.6	17.8	-
配偶者とは離婚している	12	58.3	25.0	8.3	16.7	25.0	-	-	8.3	-
配偶者とは死別している	7	28.6	57.1	42.9	14.3	-	14.3	-	28.6	-

全体で見ると、

▶「家族だと気心が知れているため」(59.6%)が最も高く、以下「家族の者だけで十分な介護ができると思うため」(20.7%)、「他人の世話になるのはいやなため」(19.7%)などの順となっている。

性別で見ると、

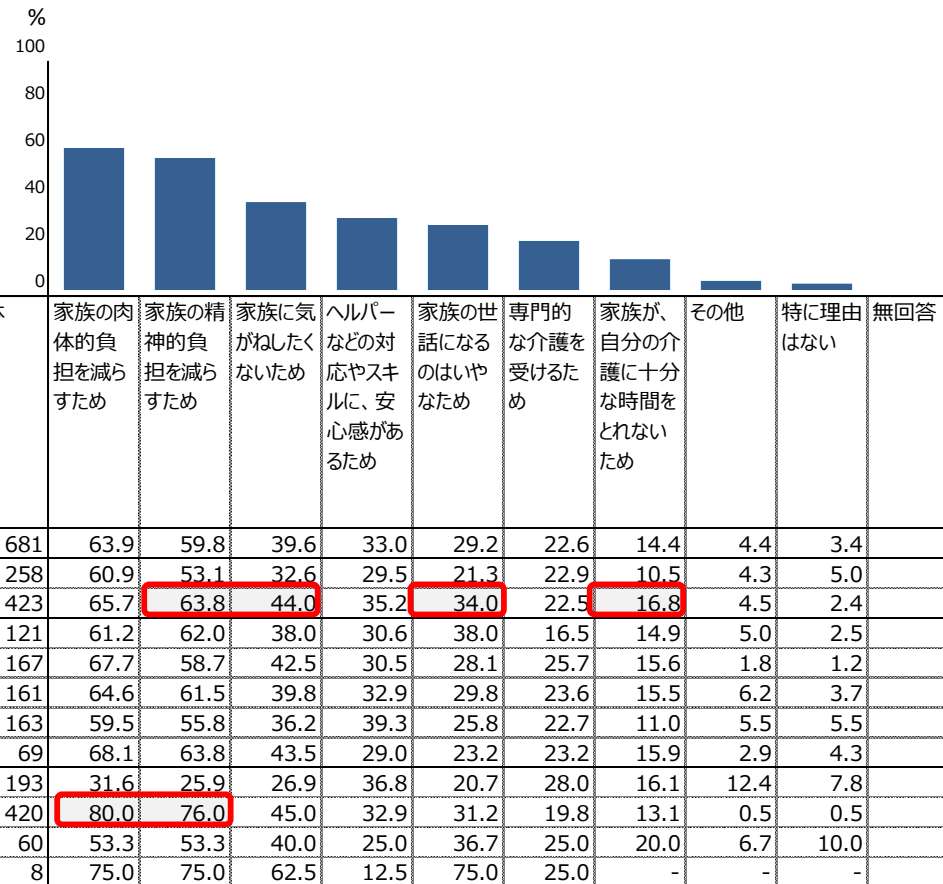
▶男性は、「家族だと気心が知れているため」(64.4%)と、「家族の者だけで十分な介護ができると思うため」(25.3%)が女性(それぞれ53.4%、14.6%)よりも高い。

※婚姻状況別は、「結婚したことがない」、「配偶者とは離婚している」、「配偶者とは死別している」が50サンプル未満と比較が難しいため、コメントはしない。

ヘルパーなど介護サービスの人に介護を頼みたい理由(性年代・婚姻状況別)

Q. ヘルパーなど介護サービスの人に自身の介護を頼みたい理由を教えてください。(いくつでも)

※自身の介護を「ヘルパーなど介護サービスの人」に頼みたいと選択した人に質問した



全体で見ると、

▶「家族の肉体的負担を減らすため」(63.9%)が最も高く、以下「家族の精神的負担を減らすため」(59.8%)、「家族に気がねしたくないため」(39.6%)などの順となっている。

性別で見ると、

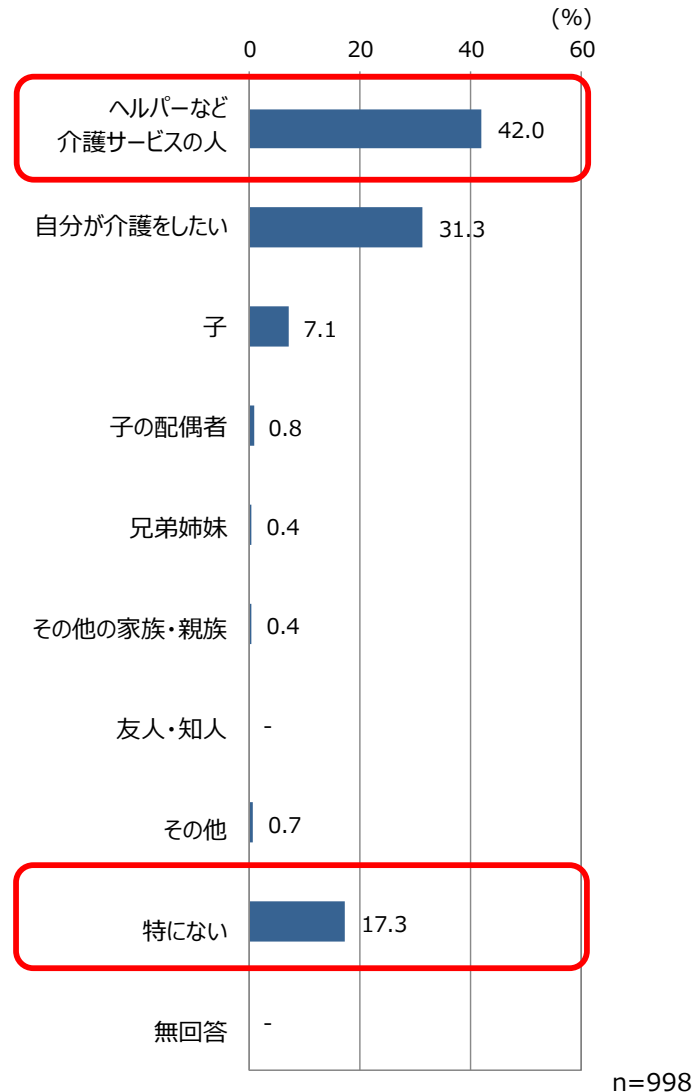
▶女性は、「家族の精神的負担を減らすため」(63.8%)、「家族に気がねしたくないため」(44.0%)、「家族の世話になるのはいやなため」(34.0%)、「家族が、自分の介護に十分な時間をとれないため」(16.8%)が男性(それぞれ53.1%、32.6%、21.3%、10.5%)よりも高い。

婚姻状況で見ると、

▶配偶者がいる者は「家族の肉体的負担を減らすため」(80.0%)が、結婚したことがない者(31.6%)、配偶者とは離婚している者(53.3%)よりも高く、また、「家族の精神的負担を減らすため」(76.0%)も、結婚したことがない者(25.9%)、配偶者とは離婚している者(53.3%)よりも高い。

将来、配偶者の介護を誰に頼みたいか(全体) ※配偶者がいる方のみ質問

Q. あなたは、将来、配偶者・パートナーの身体が虚弱になって、日常生活を送る上で、排せつ等の介護が必要な状態になった時、どなたに配偶者・パートナーの介護を頼みたいと思いますか。(主なものを1つ)



全体で見ると、

▶ 「ヘルパーなど介護サービスの人」(42.0%)が最も高く、以下「自分が介護をしたい」(31.3%)、「子」(7.1%)の順となっている。

▶ 「特にない」は17.3%だった。

将来、配偶者の介護を誰に頼みたいか(性年代・婚姻状況別)

※配偶者がいる方のみ質問

		n	%									
		全体	ヘルパー など介護 サービスの 人	自分が介 護をした い	子	子の配偶 者	兄弟姉 妹	その他の 家族・親 族	友人・知 人	その他	特にな い	無回答
全体		998	42.0	31.3	7.1	0.8	0.4	0.4	-	0.7	17.3	-
性別	男性	469	29.4	32.8	11.1	1.3	0.2	0.6	-	0.9	23.7	-
	女性	529	53.1	29.9	3.6	0.4	0.6	0.2	-	0.6	11.7	-
年代	40～44歳	157	39.5	27.4	9.6	0.6	0.6	-	-	-	22.3	-
	45～49歳	257	39.3	31.9	6.6	0.8	0.4	0.8	-	0.4	19.8	-
	50～54歳	246	41.9	30.1	6.5	0.8	0.4	0.4	-	1.6	18.3	-
	55～59歳	229	43.7	34.5	6.6	0.9	0.4	0.4	-	0.9	12.7	-
	60～64歳	109	48.6	31.2	7.3	0.9	-	-	-	-	11.9	-
婚姻状況	結婚したことがない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	配偶者がいる	998	42.0	31.3	7.1	0.8	0.4	0.4	-	0.7	17.3	-
	配偶者とは離婚している	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	配偶者とは死別している	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※配偶者がいる方のみ質問しているため、「結婚したことがない」、「配偶者とは離婚している」、「配偶者とは死別している」はn数が0である。

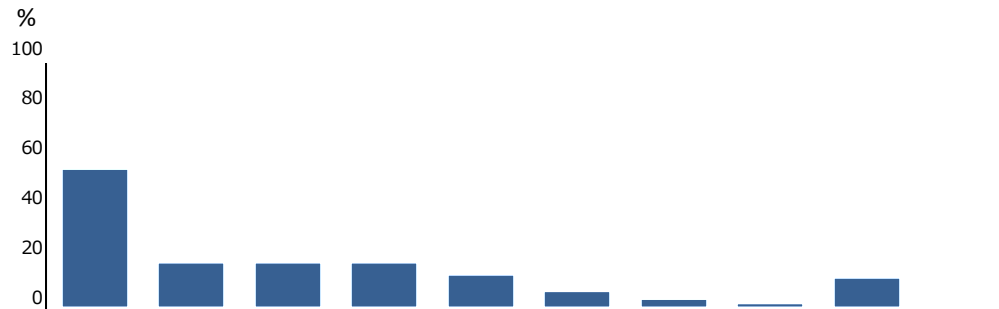
性年代別で見ると、

- ▶ 男性は「自分が介護をしたい」(32.8%)が最も高い。また、「子」(11.1%)が、女性(3.6%)よりも高く、「特にない」(23.7%)も、女性(11.7%)より高い。
- ▶ 女性は「ヘルパーなど介護サービスの人」(53.1%)が最も高く、男性(29.4%)よりも高い。
- ▶ 年代が低いほど、「特にない」が高い傾向にある。

家族に、配偶者の介護を頼みたい理由(性年代・婚姻状況別)

Q. 家族に配偶者の介護を頼みたい理由を教えてください。(いくつでも)

※配偶者がいる方で、配偶者の介護を「子」、「子の配偶者」、「兄弟姉妹」、「その他の家族・親族」「自分が介護をしたい」のいずれかに頼みたいと選択した人に質問した



		全体	家族だと気心が知れているため	家族の者だけで十分な介護ができると思うため	ヘルパーなどを利用するだけの金銭的余裕がないため	他人に家庭に入ってきてほしくないため	他人の世話になるのはいやなため	配偶者が望んでいるため	ヘルパーなどの対応やスキルに不安があるため	その他	特に理由はない	無回答
全体		399	58.4	18.8	18.8	18.3	13.3	6.3	3.3	1.5	12.3	-
性別	男性	216	62.5	23.6	17.6	17.6	13.4	5.1	3.7	0.5	11.6	-
	女性	183	53.6	13.1	20.2	19.1	13.1	7.7	2.7	2.7	13.1	-
年代	40～44歳	60	45.0	28.3	16.7	25.0	10.0	5.0	3.3	1.7	11.7	-
	45～49歳	104	58.7	18.3	17.3	15.4	8.7	8.7	1.0	1.0	12.5	-
	50～54歳	94	61.7	12.8	23.4	19.1	13.8	5.3	2.1	2.1	9.6	-
	55～59歳	98	67.3	18.4	20.4	16.3	13.3	6.1	6.1	2.0	10.2	-
	60～64歳	43	48.8	20.9	11.6	18.6	27.9	4.7	4.7	-	23.3	-
婚姻状況	結婚したことがない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	配偶者がいる	399	58.4	18.8	18.8	18.3	13.3	6.3	3.3	1.5	12.3	-
	配偶者とは離婚している	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	配偶者とは死別している	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※配偶者がいる方だけに質問しているため、「結婚したことがない」、「配偶者とは離婚している」、「配偶者とは死別している」はn数が0である。

全体で見ると、

▶「家族だと気心が知れているため」(58.4%)が最も高く、以下「家族の者だけで十分な介護ができると思うため」(18.8%)、「ヘルパーなどを利用するだけの金銭的余裕がないため」(18.8%)、「他人に家庭に入ってきてほしくないため」(18.3%)などの順となっている。

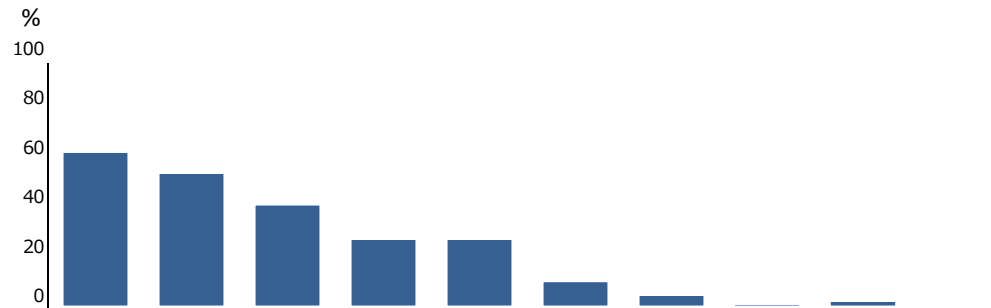
性別で見ると、

▶男性は「家族の者だけで十分な介護ができると思うため」(23.6%)が、女性(13.1%)よりも高い。

ヘルパーなど介護サービスの人に、配偶者の介護を頼みたい理由(性年代・婚姻状況別)

Q. ヘルパーなど介護サービスの人に配偶者の介護を頼みたい理由を教えてください。(いくつでも)

※配偶者がいる方で、配偶者の介護を「ヘルパーなど介護サービスの人」に頼みたいと選択した人に質問した



		全体	家族・自身の肉体的負担を減らすため	家族・自身の精神的負担を減らすため	ヘルパーなどの対応やスキルに安心感があるため	家族・自身に気がねしてほしくないため	専門的な介護を受けるため	家族が、配偶者の介護に十分な時間をとれないため	配偶者が望んでいるため	その他	特に理由はない	無回答
全体		419	65.2	56.3	43.2	28.2	28.2	10.3	4.3	0.5	1.9	-
性別	男性	138	60.1	52.2	40.6	34.8	23.9	10.9	4.3	-	1.4	-
	女性	281	67.6	58.4	44.5	24.9	30.2	10.0	4.3	0.7	2.1	-
年代	40～44歳	62	64.5	51.6	41.9	30.6	22.6	14.5	6.5	-	4.8	-
	45～49歳	101	73.3	70.3	35.6	32.7	23.8	8.9	5.0	1.0	2.0	-
	50～54歳	103	63.1	54.4	44.7	24.3	28.2	8.7	2.9	1.0	2.9	-
	55～59歳	100	61.0	51.0	50.0	24.0	34.0	8.0	5.0	-	-	-
	60～64歳	53	62.3	49.1	43.4	32.1	32.1	15.1	1.9	-	-	-
婚姻状況	結婚したことがない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	配偶者がいる	419	65.2	56.3	43.2	28.2	28.2	10.3	4.3	0.5	1.9	-
	配偶者とは離婚している	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	配偶者とは死別している	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※配偶者がいるの方みに質問しているため、「結婚したことがない」、「配偶者とは離婚している」、「配偶者とは死別している」はn数が0である。

全体で見ると、

▶「家族・自身の肉体的負担を減らすため」(65.2%)が最も高く、以下「家族・自身の精神的負担を減らすため」(56.3%)、「ヘルパーなどの対応やスキルに安心感があるため」(43.2%)などの順となっている。

性別で見ると、

▶男性は「家族・自身に気がねしてほしくないため」(34.8%)が、女性(24.9%)よりも高い。